

つくばみらい 相談事例

外貨通貨の取引

★業者から電話があり「イラク通貨のディナールを今購入し、将来経済が回復して価値が上がった時に円に換金すれば儲かる」と勧誘されましたが、信じてよいのでしょうか。

これは、新手の商法の一つと考えられます。イラクディナールは、現在日本の銀行では取り扱いがなく、国内で換金することが非常に困難です。業者と取引する場合で「いつでも円への換金に応じる」と説明されていたにもかかわらず、業者に断られたというケースもみられます。

一般に、通貨の将来における価値は不確定であり、消費者が支払った金額（元本）や利益は保証されたものではありませんので、損失が発生する可能性があります。しかし、業者は「アメリカ軍が撤退すれば、政情が安定する」「現在ディナールは、イラク戦争前の数百～数千分の1にまで下がっているが、今後は高騰するので、今購入して将来円に換金すれば、何十倍にも儲かる」と断定するなど、問題のある説明をしています。

この他、スーダンの通貨である、スーダンポンドの相談もあります。まず、A社が「1口50スーダンポンドを〇〇円で販売」とダイレクトメールを送り、次にB社が「スーダンポンドを持っていたら、数倍の値段で買い取る」と電話を入れます。するとA社から「予約だけでもしないか」と電話が来て、A社へ予約金を振り込ませようとする手口です。スーダンポンドも、現在日本の銀行での取り扱いはなく、換金は非常に困難になります。大手金融機関をかたるケースもありますので、じゅうぶん注意しましょう。